

質問回答

NO.		回答
1	調達仕様書 8 入札参加資格に関する事項(2) 公的な資格や認証等の取得(業務請負条件)ア(イ)、イ(イ)、(3) 関連した分析・調査(業務請負条件)アの提示について、期日および方法をご教示いただけますでしょうか。	入札説明書6. (1) (2)に記載の期日、方法にてご提示いただきますようお願いいたします。
2	①要件定義 表7-1 (25P) 政令改正における文言修正について政令改正により文言を変更する画面は何画面になるでしょうか。また1か所における表記文言は何文字程度でしょうか。	6画面程度(トップ画面、対象物質一覧、特別要件施設の物質一覧、様式第1・4の修正等)です。文字数は修正箇所や対象物質の文字数に依りますが、トップページの修正文字数が最も多いと思われ、300文字程度です。
3	②要件定義 表7-1 (25P) 保存ファイルフォーマットについて既利用者のデータファイルとの区別とは、政令改正における文言変更されたファイルという認識で合っているでしょうか。	既利用者は前回利用時のデータを基に作成することができますが、排出年度として2023年度以降が選択された場合は、政令改正後のフォーマットで提出する必要があるため、これに変換する必要があります。
4	③要件定義 表7-1 (25P) 保存ファイルフォーマットについて既利用者の現行データファイルはシステム改修後は使用できなくなる認識で合っているでしょうか(文字コードが異なるため、また政令改正における文言が変更されていないため)。	過去5年は遡って届出することが出来るため、排出年度として2017~2022年度が選択された場合は、現行のフォーマットで提出する必要があります。ここでは、既利用者の現行データファイルを自動変換するような機能を想定しております。
5	④要件定義 表7-1 (25P) 初期画面についてユーザー区分で分別し、環境省担当アカウントのみ画面に注意事項のON/OFFが出来れば要件を満たすでしょうか。	ログインアカウントでの区別ではなく、環境省担当官が期間ごとに注意事項表示をONまたはOFFできるように設定いただきたいという意図で記載しております。
6	⑤要件定義 表7-1 (25P) ②-2 Step2-1 特別要件施設からの大気への排出量の算出画面について年間排ガス量の計算は「時間値×年間稼働時間」で求められる数値と認識して良いでしょうか。あるいは同システム内で参考となる年間排ガス量の計算が使用されているでしょうか。	年間排ガス量の計算は二通りの方法があり、一つはご記載の「時間値×年間稼働時間」で求める方法です。なお、こちらの方法よりも「焼却物あたりの排ガス量×焼却物量」で求める方法を推奨しております。PRTR排出量等算出マニュアルの第II部p.86~90に記載の方法で算出されることを想定しています。 https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/sansyutsu/2_2.pdf
7	⑥要件定義 表7-1 (25P) ②-2 Step2-2 特別要件施設からの水域への排出量の算出画面について年間排水量の計算は「日平均排水量×年間稼働日数」で求められる数値と認識して良いでしょうか。あるいは同システム内で参考となる年間排水量の計算が使用されているでしょうか。	こちらは、「排水中の物質濃度×年間の排水量」で求める方法が主に想定されていますが(PRTR排出量等算出マニュアル第II部p.91)、加えて「日平均排水量×年間稼働日数」で求めることもできます。
8	⑦要件定義 '(2) PRTR データ公表システム (28P) 検証担保の取れている試験データは前年納品物に含まれているのでしょうか。あるいは今年度受注業者側で作成するのでしょうか。今年度受注業者側で作成となる場合、参考となるデータやデータ作成の手引き等はあるでしょうか。	試験データの作成は今年度業務の範囲になります。試験データの基礎データは当省から提供いたしますが、システムに載せるにはフォーマットを変更する必要があります。
9	⑧要件定義 表7-4 (34P) サーバ配置についてフレームに拠らないシステムとする。というのはどういった状態を表しているのか、言葉の表現が分からないため、別の表現を用いてご教示いただけないでしょうか。	要件定義書に記載の「従来」システムでは、frameset 内の frame のsrcにおいて他URLを参照しておりますが、2022年の環境省DC更改以降はセキュリティの観点から動作しない仕様であり、同一サーバ内の参照に変更しておりますが、framesetタグはHTML5では破棄されていることから、これを用いないよう変更することを指しています。
10	⑨調達仕様書(6) 作業スケジュール (9P) 記載のあるスケジュールで排出量等算出システムは2023/10にリリースがあるため、有期となる想定ですが、他システムに関しては、必ずしも記載のスケジュールで進めなければならないなどの制約はあるでしょうか。可能な限り提示されているスケジュールに近い形で対応を考慮しておりますが、考慮の余地があるのか確認となります。	近い形で行っていただきたいと思いますが、ご記載いただいているとおり、排出量等算出マニュアルの移行を優先して進めていただき、その他は業務終了までに計画的に進めていただければ問題ございません。
11	⑩調達仕様書(2) 検証環境の構築 (12P) 現状は貴省内に検証環境が存在せず、今回受注業者側が構築する想定でしょうか。	その想定でございます。

12	<p>⑪調達仕様書 (3) システム改修 ア PRTR排出量等算定システム改修・テスト・移行(ウ) 情報システムの移行 (14P)</p> <p>過去に情報システム移行の実績はあるでしょうか。実績がある場合、どのような成果物が存在するか、受注後、データ移行に係る資料一式を受領したく考えております。実績がない場合は、貴省内別システム等で参考となる資料一式がないか拝見させて頂けるか、ご教示ください。</p>	<p>昨年度も実績があり、移行計画書と移行結果報告書がございますので、受注後に提供いたします。</p>
13	<p>⑫(3) システム改修 ア PRTR排出量等算定システム改修・テスト・移行(ウ) 情報システムの移行 (14P)</p> <p>システム移行は貴省内検証環境で動作確認出来た資材から、本番環境へ移行する認識で相違ないでしょうか。</p>	<p>基本的には随時ではなく、検証環境にて全て問題がないことを確認の上、本番環境にそのまま移行する想定です。</p>
14	<p>⑬(3) システム改修 ア PRTR排出量等算定システム改修・テスト・移行(ウ) 情報システムの移行 (14P)</p> <p>移行判定項目とは、移行後の動作を確認するためのテスト項目という認識で良いでしょうか。また本項目に関しても受注業者側で作成し、受注業者側でテスト実施を行った結果を、報告するフローでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
15	<p>⑭調達仕様書 (4) OS更新 (15P)</p> <p>メンテナンス中である旨の通知は、システム上ではなく、メールでのアナウンスで良いでしょうか。送り先については貴省より連携いただける認識で合っているでしょうか。</p>	<p>システム上で、システムにアクセスされた方（システム利用者）に分かるように表示をお願いいたします。メールでの送信は想定しておりません。「メンテナンス中につき使用不可」などのアナウンスを想定しております。</p>
16	<p>⑮調達仕様書 (6) https化 (16P)</p> <p>SSLサーバ証明書の取得から受注業者で対応する認識で合っているでしょうか。</p>	<p>SSLサーバ証明書の取得は別途環境省DCの運用業者に発注する予定ですので、本業務では検証環境でhttps化を行い、動作確認を行っていただくことを想定しています。</p>
17	<p>⑮調達仕様書 (2) 作業要員に求める資格等の要件 (22P)</p> <p>記載の資格はいずれか1でも作業要員が満たせば良いのでしょうか。それとも設計・開発に携わる全員で全ての資格を取得していることを指すのでしょうか。また、設計・開発において資格と同等の業務実績を経歴などで示すでは代替可能でしょうか。</p>	<p>それぞれの作業内容につき、1人以上資格等の要件を満たしている方がいらっしゃることを想定しています。また資格と同等の業務実績をお示しいただくことでも構いません。</p>